

第2回日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場用地選定検討委員会
会議録【非公開部分収録】

日 時	令和3年9月29日(水) 午後3時00分 ~ 午後4時00分
場 所	門川町役場3F会議室
参加者	23名(傍聴者0名)
出席者	委員 学識経験者 土手裕委員、大柴薫委員、長友由隆委員 宮城弘守委員、原田隆典委員
	環境団体 山田大志委員
	住民代表 岩佐誠委員、田原謙二委員、甲斐弘昭委員
	住民公募 川口裕之委員
広域連合	黒木副長(日向市副市長)
事務局	日向市環境政策課長代理(加那屋主任主事) 門川町甲斐環境水道課長、美郷町田村町民生生活課長 諸塚村甲斐住民福祉課長、椎葉村黒木税務住民課長 広域連合事務局(吉田事務局長、田中局長補佐、茂係長、 尾前主査)
コンサル	株式会社建設技術研究所(林室長、池田技師、梁田技師)
欠席者	該当無し
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ(委員長)</p> <p>3 協議(議事進行:委員長)</p> <p>(1) 前回委員会の確認</p> <p>(2) 次期最終処分場に係る公募について</p> <p>(3) 次期最終処分場用地選定について</p> <p>(4) その他</p> <p>(5) 一次候補地の抽出について【非公開】</p> <p>4 閉会</p> <p>※配付資料</p> <p>【資料2-1】 前回委員会の確認</p> <p>【資料2-1】 (参考資料)対象地域の活断層分布</p> <p>【資料2-2】 第1回用地選定検討委員会議事要旨</p> <p>【資料2-3】 次期最終処分場に係る公募について</p> <p>【資料2-4】 次期最終処分場用地の選定手順について</p>

	<p>【資料 2-5】 二次選定における評価方法</p> <p>【資料 2-5】 (参考資料) 周辺民家と騒音振動の影響について</p> <p>※非公開資料</p> <p>【資料 2-6】 一次候補地の抽出結果 (案) → 協議終了後公開</p> <p>【別添資料 1 (非公開)】 一次候補地の位置図 → 協議終了後回収</p>
会議内容	
～休憩後、再開～	
議事 (5) 一次候補地の抽出について	
<p>【委員長】</p> <p>【事務局】</p>	<p>それでは再開する。次の協議 (5) について、事務局より説明を。</p> <p>(資料 2-6、別添資料 1 により説明)</p> <p>一候補地の抽出結果 (案) について、別添の非公開資料を用いて説明を行う。まず、P 1 の選定フローについては、ここまで何度も説明させていただいているため、ここでは割愛させていただく。</p> <p>P 2 の一次候補地の抽出結果 (案) ということ、今回の抽出結果を表で示させていただいており、ここでは各町村の箇所数を示しているものである。先ほども説明したとおり、4 つの選定条件に基づいて抽出を行ったものであり、合計 3 4 箇所となったところである。</p> <p>門川町で 9 箇所、美郷町で合計 2 3 箇所と、少し数が多いこととなっており、諸塚村で 2 箇所と、合計 3 4 箇所となっているところである。抽出数の偏りについては、後ほどの資料と併せて説明させていただきたいと思う。</p> <p>ここから、別添資料を用いつつ、併せてスクリーンでも同時に説明を行いたいと思うので、いずれかで確認させていただきたいと思う。別添資料は、一次候補地の位置図となっており、抽出地点の詳細な資料となっている。</p> <p>今回、事務局で 3 4 箇所を見つけるにあたり、いろいろと調査をしてきたところであるが、どのように作業を進めてきたのかという様子が分かる資料をご覧いただき、このような形で進めていたのかと理解していただければと思う。(スクリーン・手持ち資料を提示しながら) このように、地図を広げながらどのようなところがいいのかという協議をしながら見ていったという所になる。遠目からだとか小さく感じてしまうかもしれないが、A 0 で、これは一部抜粋ではあるが、対象地域全てで用意しているところである。</p> <p>時折、グーグルマップ等も活用しながら、周辺状況はどうなっているのかななどを、実際の航空写真を見ながら抽出させていただいたところである。では、本題の方に入らせていただく。</p> <p>別添資料 P 1 一次候補地の抽出について、ここで示しているのは抽出する</p>

にあたり、一つ重要なアクセス面、つまりアクセス道路から距離が近い所から選定していくことを一つの視点としている。図中の赤橙色で着色した部分が今回見た道路であり、大型車両が対面通行可能な道路をプロットさせていただいたものである。概ね近いといった視点だが、今回1km範囲内で見させていただいたものが緑色着色部分である。この緑色部分についてが、アクセス面が良いという判断をさせていただきながら、まずはここを中心に良いところがないか見ていったものである。

続いてP2一次候補地の抽出イメージは、あくまでもイメージとして見ていただきたい。実際には、先ほど説明したとおりA0で対象範囲内を航空写真等を活用しながら作業を行ったものである。

ここでは、アクセス面とはまた別に重要となる施工面を重点に、施工がやりやすいかどうかというところを見ていったところである。ここで重要となってくるのが、傾斜となってくる。傾斜がキツイと、最終処分場の造成がかなり難しくなってくるため、イメージ図でお示しするとおり500mメッシュ単位で傾斜を見ていったところである。

これは、あくまでも事務局側が目安として判断できる材料としたものである。凡例にあるとおり、赤着色部分は傾斜がきつく、橙色、白色の順に傾斜が比較的緩くなっていると捉えていただきたい。ただし、メッシュ内で傾斜度の平均化をしているため、多少のブレや傾斜の偏りがあるところも見られるが、あくまでも可視化し材料とするためのものであるため、特段問題はないと考えている。

また、橙色の部分は見てないのかということそういうわけではなく、比較的緩そうな部分に対しても調査を行っていたものである。

青色で囲んだ部分については、調査視点をどのように向けていたかというところを示しているものである。例えば、山地形であるところは、処分場造成にあたり多量の切土・盛土が必要となってしまうため極力避けるというようなものである。

また、イメージ図中の真ん中付近にある青囲み部分のような所についても、調査自体は行っているが、処分場造成にあたり、傾斜が少しいことから、先ほど説明した切土等の発生量に加え、浸出水処理施設や防災調節地を設置するための平坦地の確保ができないというところから、こちらについても極力避けて選定を行うこととしている。

そこで、見ていただきたいところが赤囲みしている部分である。こちらは、比較的平坦地が多く傾斜も緩やかであるため、処分場造成しやすい地形であることや、切土・盛土も最低限で済むと想定されることから抽出させていただいたものである。もちろん、アクセス面のところでも比較的近い距離のと

ころを選ぶといったように、いろいろな角度から選定を行っているところである。

このような選定要件の中で抽出した結果が、P 3～P 5に一覧で示している。最初の方で門川町9箇所、美郷町23箇所と説明したが、地図上で見ても分かる通り2町の占める面積が広大であり、必然的に候補となる箇所数も増えてくるといったところである。

諸塚村も一部あるが、傾斜がきつところが多く平坦地を見ていくとやはり2箇所程度の抽出となってしまったものである。なお、P 4では対象外地域を外した抽出対象範囲となっており、グレーの部分については除外条件対象となっている除外地域を示しているものであり、抽出対象範囲内かつ除外地域以外から抽出を行っていることを理解いただきたい。

P 5では、一次候補地の所在地（住所）一覧を表で示したものである。ナンバリングについては、所在箇所を分かりやすくするためであり、優先順位を示したものではないことをご理解いただきたい。なお、後ほど詳しく説明するが㊸番が公募地である。

P 6以降は、抽出地点でナンバリングした箇所を中心に置いた時の地図1/10,000を掲載している。少し情報量が多く見にくい部分もあると思うが、①番を例にとって説明する。

真ん中に置いているのが、いわゆる一次候補地であるが、ここをピンポイントで選ぶかということではなく、この付近を選ぶ目安としてご理解いただきたい。凡例を見ながら説明をするが、グレーの斜線を掛けている部分が対象外または除外地域であり、ここ以外から抽出を行っている。

赤色破線で丸囲みしている部分が一次候補地の抽出地点の目安であり、円形の大きさは処分場造成に必要な敷地面積3haを概ね表したものとなっている。道路については、高速自動車道、国道、県道、その他幅員5.5m以上の道路と分けて表示させていただいており、ここから比較的近いところで抽出を行ったものである。

右上の図は、抽出地点が全体のどの位置になるのかと、午前中に視察した清掃センターの位置を示したものであり、ピンポイントと位置関係を比較してご覧いただけるかと思う。地図の見方が少し難しいものとなり恐縮ではあるが、このような解釈のもとで見ていただきたいと思う。

（総括的な説明となるが）①番～㊸番については、アクセス道路から比較的距離が近く、勾配が比較的緩やかであることや、沢筋付近では平坦で緩やかな地形があること、また奥まった場所でも地形がうまく活用できるかどうかというところで選定を行っているところである。沢筋を選ぶ理由としては、最終処分場には沢筋地形をうまく利用できる特徴があり、施工面でやり

やすいためである。

なお、⑳番については公募地であり、他の候補地と比較して若干傾斜がきついているところであるが、3ha程度の規模であればなんとか造成が可能ではないかというところで示しているところである。少し東側に平坦地があるが、ここは公募地の範囲ではなく、あくまでも赤丸で示している場所であることをご理解いただきたい。

(…以降、㉔番までを1箇所ずつ説明する…)以上が、一次候補地抽出地点の全ての説明となる。ここで、P3全体地図を見ていただきたい。ご覧のとおり、アクセス道路沿いを中心に選定させていただいているところだが、先ほどの地図での説明のとおり地形等も含めて選定をしているところである。

しかしながら、これで決定というわけではなくて、この抽出結果案から委員の皆様のご意見を踏まえた上で決定となるため、この34箇所にこだわらず、忌憚のない意見をいただきたいと思う。

より有力な所があるとか、こういったところも見方がいいのではないかなどのご意見もいただけたらと思っているところである。長々と説明をしましたが、以上が非公開部分の説明となる。

【委員長】 説明があった一次候補地の抽出案について、意見等ないか。

【委員】 地図の見方が少しわからないところがあるが、例えば①番と②番を見比べると候補地としては②番の方が傾斜が低くて良さそうな地形に見えて、①番は勾配がきついのではないかという印象を受ける。そういうところがいくつもあるが、そういった場合は航空写真等を見て、これだったら建てられそうだと判断したのか、別の視点が入った上でこのような選定を行っているものなのか伺いたい。

【事務局】 先ほどの説明の中で、口酸っぱく平坦な所がと言ったところだが、少し造成面といったところで、もちろん平坦な所は建てやすいといった視点で話させていただいた。確かに、①番と②番を比較すると①番の方が傾斜がきつそうところを選んでいるとご覧になってしまうと思うが、説明の中で造成のしやすさという点で地形をうまく活用できるかできないかというところを視点として盛り込ませていただいているところである。

①番のところは、②番と比べていわゆるくぼみがあるという視点でご覧いただければと思う。今の処分場も少しご覧いただければお分かりになると思うが、段々と埋め立てていく上でくぼみがあった方がより造成しやすいといったところで見させていただいているので、全てがすべて平坦な所を選ぶといったものは一つの視点であり、造成の容易性もまた一つの視点としてあるというご理解をいただきたい。

もちろん、傾斜がきつすぎるところについては造成が難しく、①番はかなり密集していて傾斜がきつそうであると見えるが、少し東に行くと平坦な沢筋の所が見られるというのもあるため、こういったところを活用して施設だとか調整池とか、平坦地に置きやすいものを置いていくというようなところで活用できないかと思い、今回①番も採用させていただいたところである。

【委員】 分かりました。例えば、P10の⑤番も同じような視点で選定を行っているという認識でよろしいか。

【事務局】 そうですね、ここも地形からして同様であると判断し選定させていただいているが、もちろん、ご意見のとおり横並びにすると⑤番がより傾斜がきつくて、①番が少しきつい程度、②番はより平坦であるというように見られると思う。そこは、二次評価の所で選定項目として入れさせていただいているので、そこで◎～△の評価、ランク付け等を行い、評価してまいりたいと考えている。

【委員】 分かりました。ありがとうございます。

【委員長】 はい。次、委員どうぞ。

【委員】 たぶん、これは（建技研が）プロとして、地図を見て、今までやった経験でこうエリアをこうやっているのはわかるが、この時点では、地図とか、グーグルマップとかその程度で、現地は見えていないのか？

【事務局】 今の状況はあくまでも机上の調査となっており、現地に向かうのはもっと絞り込んだ段階で見えていく考えである。

【委員】 次絞り込むときは何がメインなのか。というのも、さっきまでずっと細かい評価基準をたくさん言われていたが、今回も全部やるにしても、ここでもよくわかるように、国道から距離が近いとか、そういうアプローチとでもいうか、プロの目で見えて造りやすいかどうかというところで、抽出するという点において次の絞り込みのときは何が決め手となるのか。

【事務局】 現地調査について、具体的に申し上げると5～10箇所二次候補地の段階で実施する考えである。そのときに、二次候補地に対して地質有識者や技術者も踏まえ、先ほどの周辺状況も加えて地質的にも問題はないのかといったところも見ていきたいと考えている。

さらに、資料2-4でも説明させていただいたが、三次候補地の際、配置図も踏まえて現実的な建設容易性も見ていき、経済性とか造成性の詳細をより具体的に見ていく考えである。

【委員】 この34箇所について、少なくとも私は場所を知らない。だから、選べと言われても選べない。それは、他の何名かの委員もそうだろうし、偶然知っている場所もあるかもしれないが、いわゆる平等に比較できるほどの情報や知識は持ち合わせていない。その辺は地元の皆さん、委員の方がもしその辺

の考えをお持ちなら、本日出していただいて絞っていただいたらいいと思う。

もう一つの方法として、二次選定の評価方法もここまで示してあるのだから、点数を示すことは、実は今日それが出てくるものだと勝手に思い込んでいたが、既に取り組んでいるのであれば、教えてもらえれば、ひょっとしたらそれが一つの絞り込みの参考になるのではないかと思う。もし、それを次の段階でしかしないとされたら、我々は、いや私はやれないと思う。34箇所全部の現地を見ると言われても、それはできないと考える。以上である。

【委員長】 よろしいか。2つあったが、一つは住民代表の方から見てどうかということ、もう一つは別なのでその後で進めたいと思うがいかがか。

【委員】 私は、今日初めて〇〇から候補地が挙がっていることを知ったわけだが、この〇箇所について、大体の位置は分かるが、地形の形状や、地権者等との話がどうなのかというのは私では全然わからない。この場所を見たときに、地図の〇番と〇番について、この場所にはブロイラーの鶏舎があり、住民でも車の通行を遠慮しているところもある。そうすると、一日で2台か3台という形ではあると思うが、どうなるのかなと思っているところである。〇〇以外の場所については、おぼろげながら分かる部分もあるが（ほとんど）私もわからない。

【委員】 私は、実は今日ここに来て初めて、公募で手を挙げたのが美郷町だったのを知った。この地図を見て、私の近くであればなんとなく位置だけ分かるところもあるが、（委員が）言われたとおり、それこそ他の地域は全く分からない。委員が言われたように、絞り込みを今日どうかと言われると、先ほど説明があったとおり、それこそ数値化する以外になかなか判断が付きにくいのではないかと思っている。

【委員】 今お二方が言われたようなことで、私も〇〇の〇番と〇番について、場所的には大体分かるが、〇番については私も〇〇にいたもので位置的には…施設とかあったのだが、降雪というか積雪が間違いなくあり、生産施設もダメになったこともある。

〇番についても、地形的に…どこでもそうだと思うが、改良工事の捨て土をする場所が（周辺状況を見ると）急傾斜でありなかなかできない。だから、そこもほとんど埋立が終わっているというところで、新たにそういう施設を造るとなると、その土砂を他の所に持っていかなければならなくなる…

【委員】 ちょっと興味深い意見があったのでお聞きしてよろしいか。〇番は標高1,000mくらいか…確かに雪が積もるなど。今まで全く考えていなかったが。そこに車両が上がっていくというのはどうなのか。宮崎（市内）の人は雪に慣れていないから、ふと思った。

【委員】 長話になり申し訳ないが、端的に言って（車両通行も加味し、候補地としては）厳しいかなと私の方からは言いたかった。先ほどから言われるとおり30箇所程度（の候補地）が挙がっており、その中から評価のデータとか、事務局の方である程度選定しているのか分からないが、そこに絞るしかないのかなと思っている。

ただ、私は地元から来ている代表ということであるので、うちで是非やってくれということはなかなか言えない部分もあるため、公募地も一つ出ているということも含めて、事務局の皆様でよく検討していただきたいと思う。

【委員】 ○番の横にある道は新しくできた道なのか。実は私、古いマップルを見ながら感覚を得たいと思っていたんだが、この橙色のルートは古い地図には載っていないのだが。

【事務局】 ○番の横にある道は○○である。

【委員】 道自体は立派なのか。

【事務局】 2車線道路である。

【委員】 私の方では、○○の方は大概分かるというか、こういう所に造りたいんだなというのが分かる。少し奥まったところに沢地等があるようなところで、こういうとこにできるんだと感じたが、これを選べと言われると大変だと思うし、単純に言って清掃センターから近い方がいいのではないかという気はするけど、○○に悪いような気もする。

だから、選ぶとなったときに、もう少し選び方を絞り込んでここがベストだというように、30箇所程度ではなく15箇所だとか、10箇所程度に絞り込んでからだと選びやすいのではないかと思う。

【委員長】 はい、ありがとうございます。まず、ここまでで理解してほしいのは、この30箇所程度選んだのは、最初に前回決めた1～4までの条件を満たす所で30箇所前後ということで選んでおり、次の選定でここから、今意見等があったように、いろんな条件を検討して10箇所程度に絞り込んでいこうというプロセスになる。

だから、ここでは1～4までの条件をまず満たしていない部分が明確にあるのであれば落としていきたいというのが一つ。もう一つは、今発言があった積雪については私もうっかりしていたが、地元の方の意見を聞かないとわからないことなのだが、冬季の積雪があった際でも大丈夫なのかどうか、少しそこのところを確認したいと思うが、いかがか。

【事務局】 事務局からよろしいか。先ほど委員長から説明があったとおり、今日34箇所提案させていただいているが、この箇所については一次選定の評価基準を満たしているところを、基本的には全て地図上から洗い出してお示しているという状況である。

地形的なもの、それから積雪とかブロイラーだとか、そういった生活環境に関する条件も出てくるが、それらについてはこれから二次評価等で段々絞り込んでいって、最終的には1箇所を決めていくプロセスをこれからお願いしたいという風に考えているので、清掃センターからの遠い近い、そういったことも含めて今後評価していただくということになる。

【委員】 議会答弁を求めているのではないのだから、具体的にどうやってするのかというのを考えた上で説明してほしい。今の説明では、結局何もできないと言っているのと一緒だと思うのだが。

【委員長】 失礼だが、何もできないとはどういうことか？

【委員】 今事務局が説明したものでは、我々は現場を知らないと言っているのに、どうしたらいいのかという話である。

【委員長】 私も現場を知らないが、今事務局は全てと言ったが、全てではなくてその中から30数箇所選んで、そこから情報を入れていくということである。

【委員】 事務局提案が出てこない、我々は手も足も出せないということである。

【委員長】 事務局提案は、1～4までの条件をクリアしている場所をまず選ぶという事務局提案である。

【委員】 では、34箇所が事務局提案ということか？

【事務局】 そうということである。現在のところは、地形図上で選んでいるので、まずその視点でお考えいただければと思う。これから先は、絞り込んだ段階でまた航空写真をお示ししたりとか、いずれ現地調査もするので、そのときは現地調査の状況写真、そういったものをお示ししていく。だから、今の段階では地形図上で4つの評価基準に合致したもの、これ以外の所は、ここは違うという所を教えてくださいということである。

【委員】 埋立地の下流に、例えば上水の取入口（水源）があるとか、その辺の状況は次の段階となるのか。

【事務局】 はい。先ほど二次評価の基準案でご説明したように、水道水源については二次評価で評価する考えである。

【委員長】 よろしいか。…先ほど言った積雪というのは、二次評価で評価するものなのか。

【委員】 標高でかければすぐわかるので、今でもできると思うが。

【委員】 よろしいか。今日はここまでという風にしたい方がいいような気がするが。これからまたどうしますかというか、とりあえず一次候補地が34箇所あるという確認くらいで、その次から、絞り方を決めていくとかにしたい方がいいのではと思うのだが。

【委員長】 はい。今日は一次抽出候補地を決めるという所までなので、今提案があった34箇所について、これでよいのか、それとも1～4までの条件の内、ク

リアしていないものがあるので外すかという議論である。それで、この34箇所から次どうやって選ぶかというのが、今日最初の方で決めた二次評価項目である。それは決めていただいたので、その評価方法に則って34箇所の中から10箇所程度に絞り込みをしていき、次回は10箇所程度に絞られた案が出てくるといった手順となることをご理解いただきたい。

【委員】 では、今日10箇所に決めるということなのか。

【委員長】 今日10箇所ではなくて、今日はこの34箇所について調査及び評価をしてよろしいかということを決めるものである。

よろしいか。…では、先ほど積雪の話が出てきていたがどうか。

【事務局】 積雪に関しては、ご指摘のとおり重要な視点となってくるところである。二次評価の所で立地特性の中に地形という評価項目があると思うが、ここで積雪といったところの視点として盛り込んでいきたいと考えているところである。

積雪によって造成がしにくくなるとか、搬入車両がここに行きにくい等の評価を、このところに盛り込んでいきたいと考える。

【委員長】 そうすると、協議(3)で二次評価の項目を決めたが、今の議論を踏まえて立地特性のところでは積雪による影響も入れるということで案を修正させていただきたいが、よろしいか。では、修正した内容を最終的な案とすることとする。

それでは、他に意見もないようなので事務局案のとおり、34箇所を一次抽出案として当委員会にて決定とするがよろしいか。そのほか、委員から何かないか。他になければ、以上で本日の協議を終了し、進行を事務局の方に返すこととする。

【事務局】 委員長は、進行ありがとうございました。委員の皆様、本日は長時間のご協議、本当にありがとうございました。なお、別添資料1は非公開資料のため回収させていただきますので、お帰りの際は机の上に置いてください。また、設置要綱第9条に定められていますとおり、委員の皆様には守秘義務がありますので、別添資料1については、順守していただきますよう重ねてよろしくお願いいたします。以上で、第2回日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場用地選定検討委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

(以上。)